

ひかり

Kikuna
Memorial
Hospital
News Letter

vol.101
2017.11

ご自由にお持ちください

● 特集

心臓リハビリテーション導入のお知らせ

● KMH - 部署紹介 -

● 検査科レポート vol.21

● KMH -NEWS-

● KMH -TOPIC-

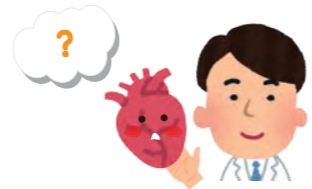
心臓リハビリテーション 導入のお知らせ



循環器内科 医長 細川 哲

はじめに…

2017年11月から、菊名記念病院でも心臓リハビリテーションを導入することとなりました。心臓リハビリテーションとはまだ一般的になじみがない分野でもありますため、まず心臓リハビリテーションとはどういうものかご説明します。



心臓リハビリテーションって？

心臓リハビリテーションとは、**心筋梗塞や心臓弁膜症などの心臓病の患者様が、低下した体力を回復し精神的にも自立して、社会や職場に復帰するための総合プログラム**です。もちろん心臓病の再発予防や、快適で質の良い生活の維持もその中に含まれます。プログラムの内容は、運動療法や患者様の意識改革や教育、生活指導、カウンセリングなど多岐に渡ります。今までも当院では生活指導やカウンセリングなどを行ってきました。運動療法も行っていましたが、施設の拡張に伴い運動療法を強化することになりました。

例えばどんな事をするの？

急性心筋梗塞の場合の一例をご紹介します。急性心筋梗塞で入院した患者様は、まず**集中治療室で治療**を受けます。経過をみながら歩き始めていただき、大丈夫だと判断されれば**急性期リハビリテーション**として病室や病棟の廊下などで歩行練習を行います。

次に安全が確認できれば、リハビリ室で**回復期リハビリテーション**を行います。運動トレーニングとして医師の指導の下でモニタリングを行いながら、**歩行や自転車こぎ**をします。退院前に運動能力を評価し、退院後の運動指導や生活指導を行います。



退院後のケアって？

退院後は、**外来通院リハビリに週1～3回参加して、自転車こぎ運動**などをします。通院リハビリにこない日には、ご自宅で在宅運動療法をしていただきます。月毎に運動能力の評価と血液検査など検査をして心臓リハビリの効果の評価し、今後の運動療法のやり方や日常生活での注意についてご指導させていただきます。

これ以降の**維持期の心臓リハビリテーション**としては、ご自宅あるいは近くのスポーツ施設での運動や、**食事療法・禁煙**といった生活習慣の改善を継続することになります。

以上が、急性心筋梗塞の心臓リハビリテーションの一例です。各種開始時期については患者様の病気の程度にもよりますし、他の心臓病のリハビリテーションの内容も細かいところは異なりますが、おおむねこのような内容です。



退院後も安心のサポート

ドクターからのメッセージ

以上、簡単ですが心臓リハビリテーションについてご説明させていただきました。施設拡充に伴う心臓リハビリテーションの導入により、**患者様がより良い退院後の生活を送れますよう、職員一同精一杯努力させていただく所存です。患者様の協力は不可欠ですので、是非一緒に頑張りましょう。**

ふおとぎやらり～ 実施風景のご紹介



代表的な心臓リハビリテーション中の風景。おもに歩行訓練や自転車こぎの運動療法を用います！



自転車は最新の「ストレングスエルゴ5」を導入！使いやすさ抜群です！



スタッフの指導で安心・安全♪和やかな談笑もはさみつつ、しっかり体力UP！



臨床工学科のご紹介

臨床工学科は、「臨床工学技士」という国家資格を持つ医療機器の専門家です。平成元年にできた資格なので、認知度の低い部門ではあると思いますが、これを機に知って頂ければ幸いです。我々臨床工学技士は治療に用いる生命維持管理装置の保守・点検を行い、安全な医療を提供しています。また医師や看護師などの他職種とチームを組み、生命維持装置の操作も行なっています。



生命維持管理装置って何？

人の呼吸や循環など生命維持につながる機能を補助、もしくは代行する機械のことを言います。人工呼吸器や人工心肺装置、血液浄化装置、心臓ペースメーカー、除細動器、生体情報モニターなどです。



どんな仕事してるの？

日々、院内の様々な場所で活躍しています。各場所でどのような事を行なっているか御紹介します。

部屋	取り扱い機器	業務内容
病棟	人工呼吸器、生体情報モニター、輸液ポンプ	毎日病棟ラウンドを行い、院内機器の適正使用の確認。
外来	ペースメーカー	埋め込んだペースメーカーの動作点検や、不整脈の履歴確認。
血管撮影室	ポリグラフ、血管内超音波装置、ペースメーカー	血管造影検査やペースメーカー手術で使用する装置の操作。
手術室	麻酔器、電気メス、人工心肺装置	麻酔器などの日常点検と心臓血管外科手術時に使用する人工心肺の操作。
透析室	透析機器	穿刺・返血、透析機器の操作及び動作点検。
内視鏡室	内視鏡システム一式	内視鏡カメラの洗浄や動作点検。検査の補助。
臨床工学室	医療機器全般	他職種への機器に関する勉強会の開催や、定期点検の実施。

最後に…

臨床工学科スタッフ一同は工学の知識、医療の知識を駆使し、安全と質の向上を目指しています。また国家資格取得後も専門認定制度取得や、各分野でのセミナー参加を積極的に行い、日々自己研鑽に努めています。

スタッフ一同、院内の安全の為に、これからも頑張ります！

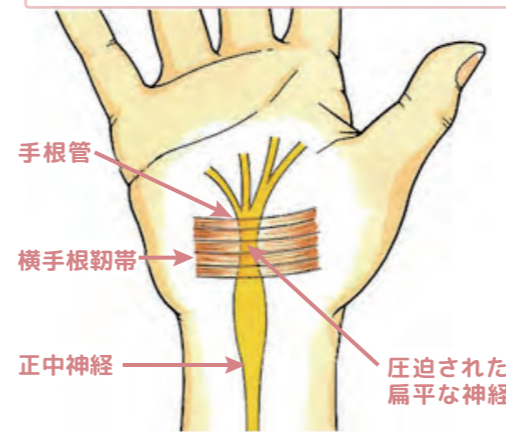
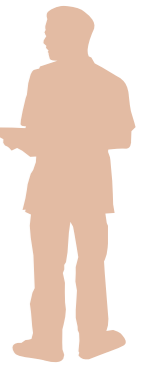


★資格 および 認定資格取得者★

- ◆体外循環認定士:2名
- ◆3学会合同呼吸療法認定士:6名
- ◆透析技術認定士:10名
- ◆不整脈治療専門臨床工学技士:3名
- ◆第2種ME技術実力検定:9名
- ◆BLSヘルスクエアプロバイダー:16名

手根管症候群について

臨床検査科
後藤 未帆



手のしびれの原因の1つに手根管症候群があります。「手根管」とは手首の位置にある骨と靭帯でできたトンネルのことです。この手根管内には、1本の正中神経と9本の腱が通っていて、この中で正中神経が圧迫されて手根管症候群が生じます。

手根管が狭くなる原因ですが、原因不明の特発性のものと原因が特定される続発性のものに分類されます。

特発性：手根管内の腱鞘炎

手の使い過ぎや、妊娠・閉経、更年期の女性に多くみられます。

続発性：リウマチ、手首の骨折、腫瘍、透析によるアミロイドの沈着などがあります。

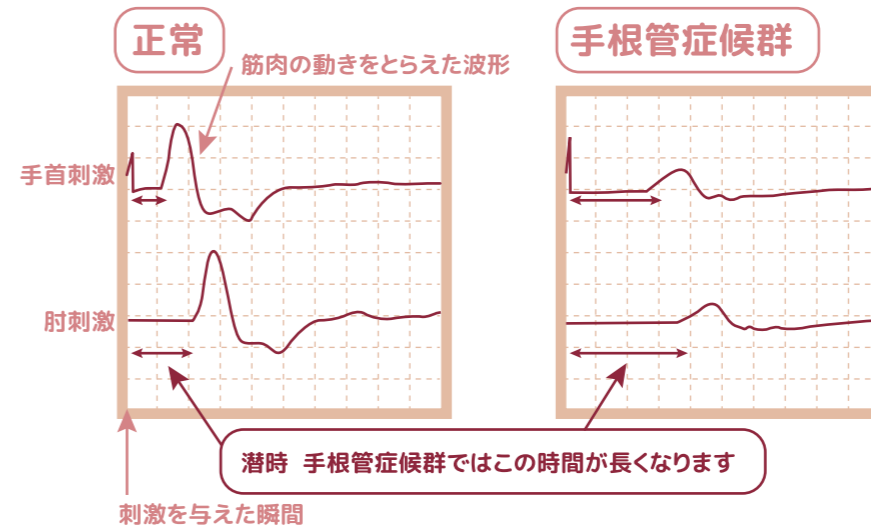


症状
指のしびれ・痛み(母指～環指の半分)
⇒特に夜間から明け方に強く生じ、手を振ることで楽になります。

母指の付け根の筋肉(母指球筋)がやせる
⇒物をつまんだり、ボタンをかけることが困難になります。

神経伝導速度検査

正中神経に電気刺激を与え、神経に障害がないかを調べる検査です。手根管症候群の場合、母指の付け根の筋肉に反応を記録する電極を置き、手首と肘の内側から電気刺激を与えます。刺激を与えてから筋肉が反応するまでの時間を潜時といい、手根管症候群ではこの時間が長くなります。



治療法：軽症の場合は腱鞘炎および神経を改善させるための生活指導及び薬物療法を行います。母指球筋の筋力低下、神経伝導速度検査で異常値になると手術で治療します。



日本光電社製 Newropack S1

菊名記念病院のHOTな
ニュースをご紹介します。



NEWS 1 医局人事のお知らせ



循環器内科 (10/1 付)

小川 洸

患者様がより良い医療を受けられるよう努めていきます。よろしくお願いします。



循環器内科 (10/1 付)

小倉 邦弘

よろしくお願いします。

NEWS 2 9/15 第9回 YMG 災害対策セミナー

“災害医療における組織マネジメント～3.11. 被災病院の活動報告から～” 当院の看護師、伊東真由美さんに講演していただきました。多くの方に参加頂き好評裏に終了致しました。



当院職員も神輿担ぎに参加させていただきました。菊名神社を中心に近隣の住宅や施設を巡り、神様と住民の絆を深めました。全員で大きな声で「ワッショイ」と神輿を担ぎ、大いに盛り上がりました。

NEWS 3 9/16 菊名神社例大祭



NEWS 4 9/19 予約不要 参加無料 第145回 糖尿病教室

「糖尿病の食事を見てみましょう」 管理栄養士 熊澤 華子
「糖尿病の運動療法について」 リハビリテーション科 板倉 鉄兵
「糖質制限食の利点と注意点」 糖尿病外来 内科医 辻 正富
今回は実際に糖尿病の食事療法のポイントに沿った内容の献立で作成した食事を参加者の皆さんに食べて頂きました。



NEWS 5 9/20 予約不要 当日参加 OK! 第29回 公開市民講座

「便は腸のバロメーター～薬に頼らない下痢・便秘の治療と大腸内視鏡検査の効果～」 消化器内科 中村 仁紀医師
今回は、規則正しい排便習慣の大切さ、大腸内視鏡を受けるタイミングと検査の方法について学びました。



NEWS 6 9/26.27.28.10/4 看護師復帰支援プログラム

看護師復帰支援プログラムを大倉山記念病院・新横浜リハビリテーション病院・山本記念病院との4病院合同で開催しました。医療安全・感染対策、実技演習など積極的にご参加頂きました。復職に向けて少しでもお役にたてれば幸いです。この研修以外でも看護師の病院見学等は随時実施中です!



NEWS 7 9/30 保育室 避難訓練

保育室では毎月避難訓練を行っています。9月には救急の日があり、火事・不審者・地震の時の避難の練習を復習しました。保育士の作った「おかしも」の紙芝居を真剣な表情で見ていた子どもたちでした。



NEWS 8 10/1 YMG 訪問看護ステーション菊名 YMG 医療介護相談センター スタート

平成26年9月に新横浜へ移転後、訪問看護、介護、居宅の3事業所はYMG在宅支援総合センターとして運営してきました。看護師の増員に伴い利用者様も増え、更に訪問範囲を拡大し、より地域の方々に貢献できるよう2事業所に分かれ対応させて頂く事になりました。看護師7名、事務員1名のスタートとなりますが、地域の方々と連携をとりながら、笑顔がある充実した生活が送れるようなサービス提供を目指し、スタッフ一丸となり邁進していきたいと思います。

所長 川口 みさ子



YMG 訪問看護ステーション菊名

TEL:045-438-2805

〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-3-11

医療・介護(施設の入所等のご相談)のご相談ありましたらお気軽にどうぞ

YMG 医療介護相談センター

TEL:045-438-2800

相談員 刀根 千絵子 (とね ちえこ)

E-Mail: ymg-soudan@ymg.gr.jp

受付時間: 月水金 9:00~17:00 土 9:00~12:30

相談無料



NEWS 9 10/10 看護師特定行為研修

10月10日より特定行為研修を開始しました。研修を修了した看護師は、特定行為看護師として、これまで医師が行っていた医療行為の一部を決められた手順書のもと実施することができます。高度かつ専門的な知識と技術を身につけ、病院だけでなく地域でも活躍できる看護師を養成していきます。



NEWS 10 10/21 次世代 リスクマネージャー研修

医療安全管理室ではリスクマネージャー・次世代リスクマネージャー育成の為に毎年多職種合同で研修を行っています。今年も参加者は真剣に取り組んでいました。





11月より

土曜日の午後の外来が開始しました。

診療科：内科 / 循環器内科
 ：消化器センター / 整形外科

診療時間：pm2:00 ~ pm4:30

受付方法：予約制になります。

- ① 電話予約：予約センターにお電話ください。 **TEL: 045-402-7015**
- ② 来院予約：4F 再来受付にお越しください。

受付時間：平日（月～土） 8:30 ~ 17:30



読売新聞社 MOOK 「受たい医療」に 掲載されました



インフルエンザ予防接種のお知らせ 接種期間：11/1(水) ~ 12/30(土)

菊名記念病院ではインフルエンザの予防接種はかかりつけの患者さまのみ行っております。当院初診の方やかかりつけではない方の予防接種はお断りをさせて頂いておりますので予めご了承ください。予防接種をご希望の方は受付事務員にお申し付けください。

編集後記

秋が深まり、朝晩の冷え込みが身に染みる季節になりましたね。このところ2週続けて台風が週末あたりに関東を通過するといった、おかしな天気です。今年はずれ間の少ない秋に感じられます。

インフルエンザも例年に比べ早くも出始めてるようですので、みなさまの体調管理にもじゅうぶんお気を付けてください。「○○の秋！」みなさまもそれぞれの秋を満喫しましょう！

広報 根岸

当院の基本理念

私たちの病院の使命—Mission—
 質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



日本医療機能評価機構
認定病院 (3rdGVer.1.1)



JQA-QMA14243
ISO9001:2008
認証取得病院



ピンクリボン運動
を応援します。